

2-3-1-1. あなたは私の鏡

あの人はいつも私に対してそっけない態度をとってくる。だから私もあの人が来るとついついイライラしちゃう。そんなことはありませんか？

相手の態度はあなた自身の写し鏡。

あなたがカリカリなら相手もカリカリ。

あなたがニコニコなら相手もニコニコ。

どうせ写し鏡ならニコニコの方がいいですね。

これは人間理解の基本的な原理です。

- (少し異なるけれど参考となる周辺理論)
- ・トムキンス「顔面フィードバック仮説」
 - ・C.G.ユング「シャドウ」
 - ・エリクソン「社会的微笑」
 - ・クーリー「鏡映自己」



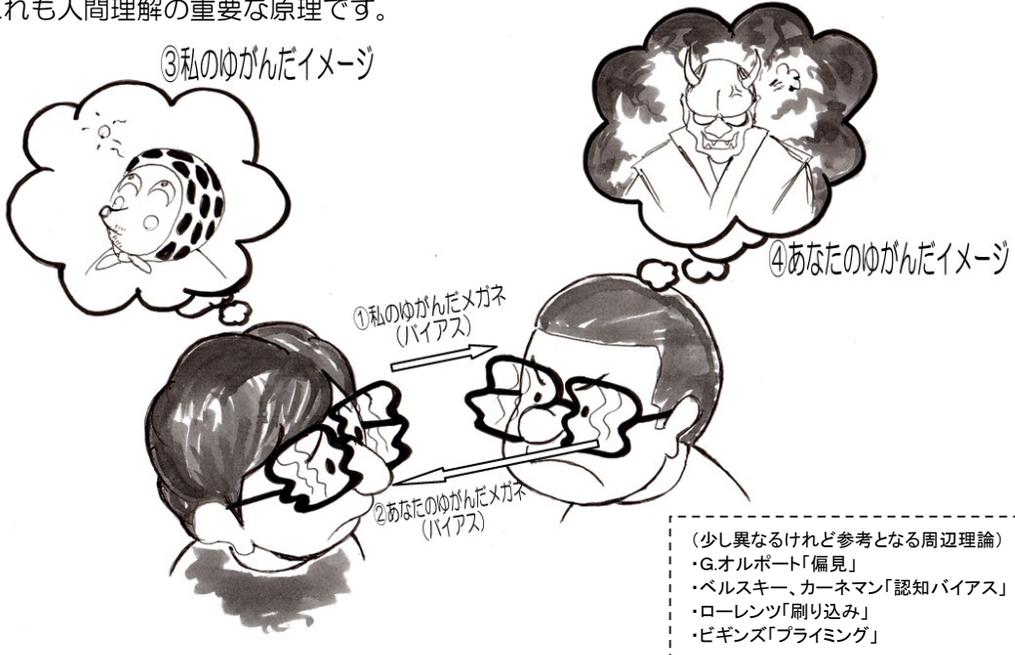
2-3-1-2. 4つのゆがみ

知らず知らずのうちに私たちは皆自分自身が作りだした“ゆがんだメガネ”をかけています。“①わたしのゆがんだメガネ”と“②あなたのゆがんだメガネ”が“③わたしのゆがんだイメージ”と“④あなたのゆがんだイメージ”を作ります。

ゆがんだイメージとイメージがぶつかり合ったら大変です。

ゆがんだメガネをはずして、もう一度冷静になってみるのが大切です。

これも人間理解の重要な原理です。



- (少し異なるけれど参考となる周辺理論)
- ・G.オルポード「偏見」
 - ・ベルスキー、カーネマン「認知バイアス」
 - ・ローレンツ「刷り込み」
 - ・ピギンズ「ブライミング」

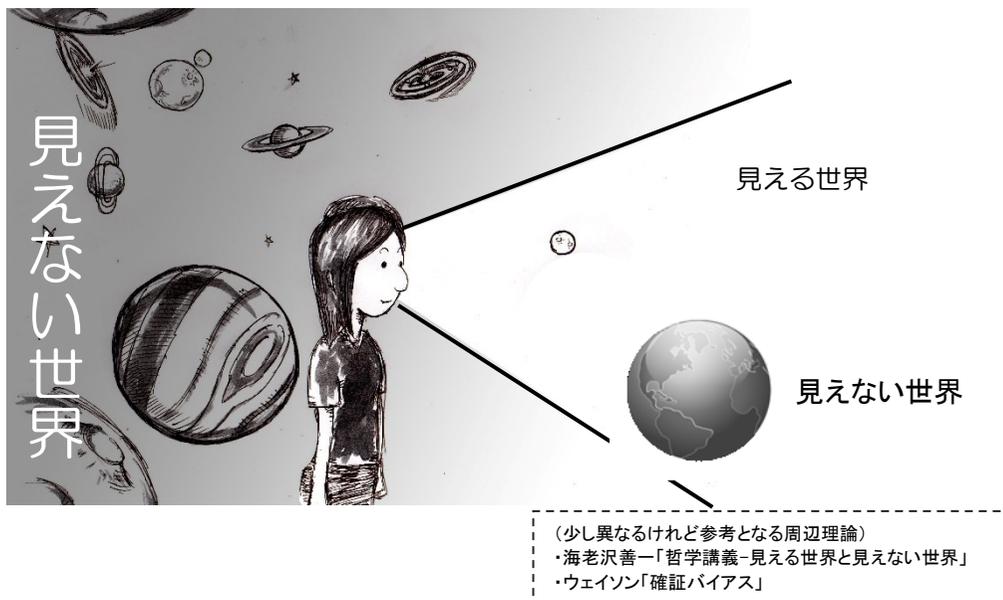
2-3-1-3. 見える世界と見えない世界

私たち人類は、地球の謎をたくさん解明してきました。しかし、ひとたび目を宇宙やミクロの世界にまで広げてみるとどうでしょう？私たちが知っている事など、ほんの一部にすぎません。

人間関係においてもそれはいえます。あなたが知っている世界はじつはほんの一握りのもので、あなたの周りにはあなたから見えない世界が取り巻いています。あなたの知らない社会のルール、あなたが知らない人々の積み重ね、あなたの思いも及ばない原因や理由があります。

なのに、私たちは自分のわかる範囲の世界の法則で物事を理解しようとしています。また、自分のものの見方や判断は正しいと思い込む（セルフ・サービング）心の仕組みがあるため、人のいうことを真摯な気持ちで検討してみようという気持ちに中々なれません。そのため、私たちにとって、目の前の世界を正しく理解することはとても難しいことなのです。

したがって、私たちは、自分の理解できない世界に目を凝らし、新たな真実を探ろうとする謙虚さ、未知の世界に挑む勇気をもつことが必要です。



2-3-1-4. 仕返しのかえし

ムカムカムカッ！！よーし、あの人に仕返ししてやろう。

ちょっと待って下さい。あなたが仕返しをすれば、相手もまたあなたに仕返しするかもしれません。

仕返しのかえしという負の連鎖が生まれ、エンドレスな争いになってしまいます。人類普遍の愚行＝報復連鎖の原理です。

仕返しの連鎖を自分のところでくい止めることが大切です！！



(少し異なるけれど参考となる周辺理論)

- ・越中康治「攻撃行動に対する幼児の善悪判断の発達の变化」
- ・シェリフ「目標葛藤理論」